

NTTドコモビジネスが展開する J-クレジットのご紹介



NTTドコモビジネス株式会社

01 NTTグループの事業

- NTTグループを代表して、法人のお客様にワンストップで価値あるソリューションを提供
- 社会課題を解決する産業・地域DXのプラットフォーマーを目指します



02 NTTドコモビジネスのカーボンクレジットソリューション



- 現在、NTTドコモビジネスでは、環境経営支援（可視化等）、省エネ機器・設備、カーボンクレジット、リサイクル・廃棄物処理の全4カテゴリに渡ってGXをご支援しています。
- カーボンクレジットソリューションとしては、森林価値創造PF、Green Natural Credit、をご提供しています。

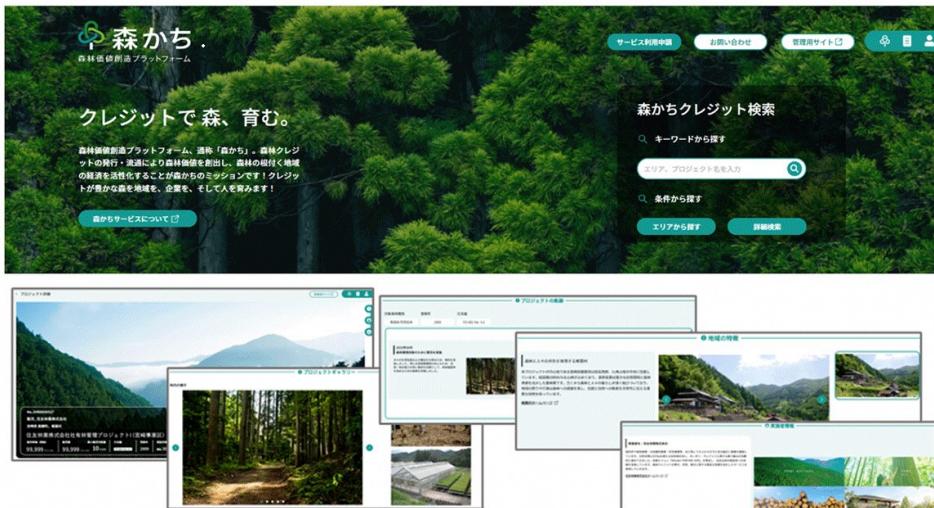


03 NTTドコモビジネスのカーボンクレジットソリューション

森林価値創造PF（プラットフォーム）

～森林由来カーボンクレジットの創出、審査、マッチング～

- 「森林と社会をつなぐ」コンセプト
- GIS※を含むクラウド型サービスを活用し、森林資源情報をプラットフォーム上で統合管理
- 森林由来カーボンクレジットの創出や審査、選定、購入を包括的に支援



※Geographic Information System。地理情報をコンピューターの地図上（デジタルマップ）に可視化して情報の関係性、パターン、傾向をわかりやすく私たちで導き出すために活用。



Green Natural Credit

～農業分野におけるJ-クレジットの創出・販売～

- 稲作におけるメタンガスの排出を削減し、カーボンクレジット化
- 水田にIoTセンサーを設置して、エビデンスデータ取得、アプリでクレジット登録
- 生産品はエシカル商品としてブランド化し、dショッピングなどで販売
- 農業支援可能

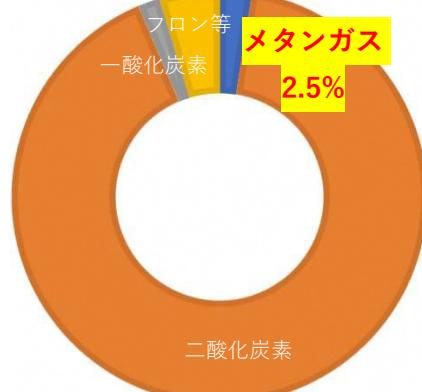


04 中干し延長による温室効果ガス削減

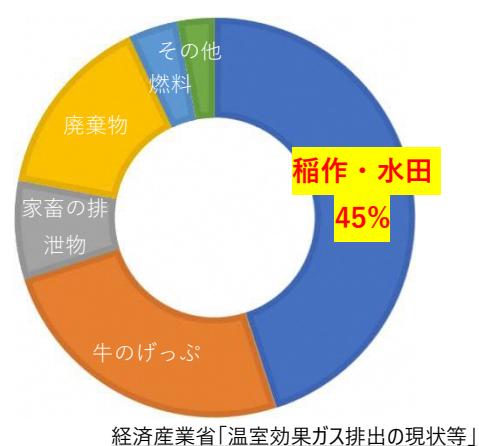
- 水田では灌水によって地中のメタン菌が活性化し、メタンガスが発生します。
- 中干し期間の延長や間断かん水などによって、水田から水を抜くことでメタンガス発生を抑えることができます。

● 稲作の環境に与える影響

温室効果ガス種類と割合

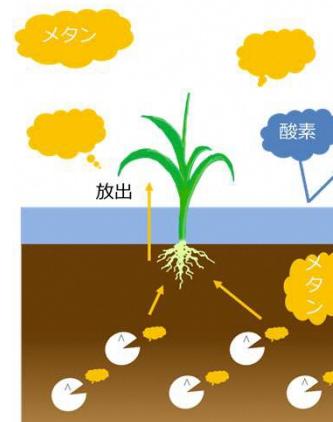


メタンガス排出源と割合

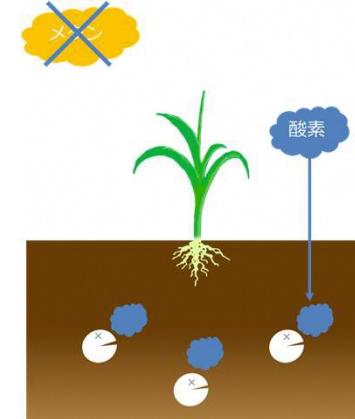


● 温室効果ガス発生の仕組み

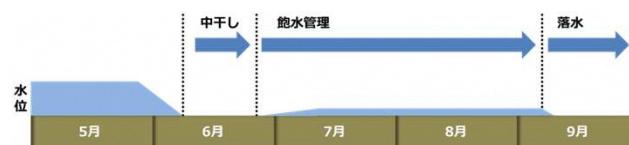
大気へのメタンガス放出



メタンガスの抑制



● 水管理のイメージ



中干しを1週間延ばすと...

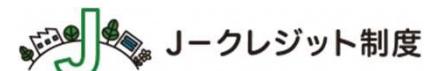
30%削減

独立行政法人農業環境技術研究所「中干し期間の延長で水田から発生するメタンを削減-水管理による温暖化対策」

● 認証機関



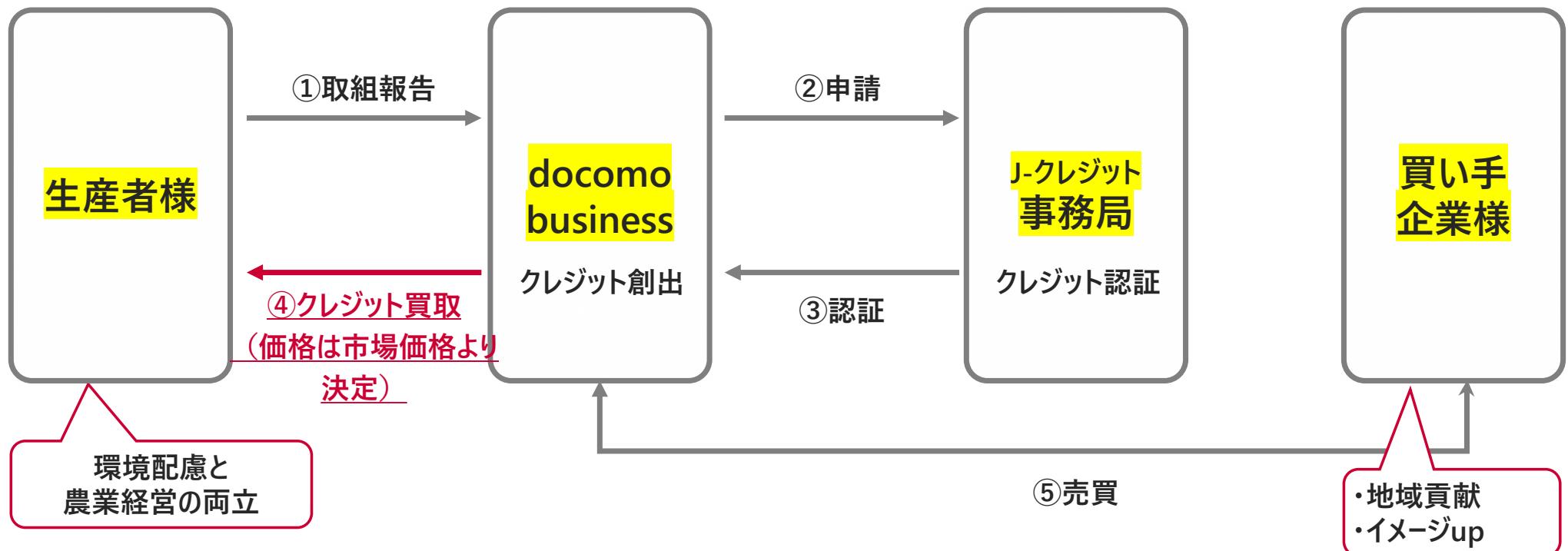
VCS公式サイト



※2023年3月方法論策定

05 ドコモビジネスが運営する「Green Natural Credit」

- 生産者様の「中干し延長に取り組んだ証跡」をクレジットに換えて販売します。
- 生産者様から報告いただいた内容が認証されれば、市場価格の70%を目安にドコモビジネスが指定する単価で全量買い取ります。
- 皆様の事業の持続・収益向上に貢献します。



06 ドコモビジネスのクレジット事業の特徴

ドコモビジネスの全国拠点を活かして、様々なエリアでの実績・ノウハウをもとに
クレジット創出にご協力いただける皆さまをサポートしています！

ポイント①

入会・申請支援

- 全国地域に拠点があるから安心
- NTTグループ各社とも連携



ポイント②

申請方法

- 栽培管理ソリューションあい作に対応
- 他の営農支援アプリも順次対応予定



ポイント③

買取・販売

- クレジット相場価格の7割相当で全量買取
- ドコモビジネスの営業網で販売します
- R6年度認証クレジットは短期間で完売



07 生産者様のメリット

カーボンクレジットのお取組に参画いただくことで、生産者様にも複数のメリットがございます。

1. 収入の増加が見込める



- ◎ 中干し延長の取り組みによって追加収入が得られる
- ◎ みどり認定の環境負荷低減要件を満たすことにつながる
- ◎ 多面的機能支払制度の申請でプラス評価される（みどりチェックなど）
- ◎ 環境配慮米として打ち出せるようになる

2. 地域循環・地域経済への貢献



- ◎ 地域の事業者様に販売することができれば、新たな経済循環を生むことができる

08 トピック案件：JAえちご上越様

- 上越市は水稻の作付面積で、上越市は水稻の作付面積で、全国第4位の日本有数の米生産地
- 2025年度の中干延長に向け、全10会場（2025年2月19日～22日）で大規模説明会を実施
- 2026年度も中干延長に向け、全4会場（2026年2月17日～25日）で大規模説明会を実施予定



脱炭素の取り組みをお金に換える Jークレジット制度

Jークレジット制度とは、CO2などの温室効果ガスの排出削減量を国が「カーボンクレジット」として認証する制度です。この「カーボンクレジット」を企業が購入することで、生産者の皆さまは収益を得ることができます。

どれくらいの収益が得られるの？

10aあたり
¥1,000 ~ ¥4,000

収益は、販売するカーボンクレジット量により変動します。また、カーボンクレジット単価は購入者との相対取引で決まるため、あらかじめ定めた額はありません。得られるカーボンクレジット量についても水田の所在地や排水性などによって異なります。

※ 中干し期間延長により減収や品質低下の可能性がございますが、その責任は弊社では負いかねます。
※ カーボンクレジットはNTTコムが市場にて販売しますが、その価格には変動があります。

「中干し期間延長によるJークレジット創出事業」に関するお問い合わせ
NTTコミュニケーションズ(株) Green Natural Credit担当 GreenNaturalCredit_reg@ntt.com

※北・日・祝・年末始は休業とさせていただきます。

Jークレジットの申請手順

事前確認・契約	田植え前	中干し期間	実施後	取扱い
1 説明会への参加 Jークレジット制度や取り組みの内容についてご紹介いたします。 制度の理解を深め、プロジェクトへの参加をご検討ください。	2 過去の中干し状況確認 直近2か月分の中干し期間（日数）のわかる記録（栽培履歴）を準備下さい。	3 お申込み NTTコミュニケーションズとJA えちご上越が取り組むプロジェクトに参加 頂きます。お申込み期日は 2024年5月10日までになります。 より多くのカーボンクレジットの確認のため、 共同開拓日表・営農計画書 等と品種別の直近2か月分の中干し実施記録をJA えちご上越の各営農センターへ直接提出ください。	4 排水性確認（任意） 代表圃場1筆、田植え前まで田植え後から1週間以内、降雨のない24時間で、取水口・排水口の両方を閉じた条件下で取下した水位（1ミリ単位）を計測しましょう。実際の証拠として写真データを提出頂きます。	5 中干し期間の延長 毎年、過去の中干し実施日の平均日数から1週間以上長く中干しを実施しましょう。
6 中干し記録・撮影 中干し期間を記録。 品種ごと、管理単位ごとに中干し開始時と終了時に代表圃場1筆で取水口・排水口の両方の両面を撮影頂き、NTTコミュニケーションズが提供するアプドで提出ください。	7 書類のご提出 栽培履歴、中干し記録の提出を最終確認ください。 データ提出期日は 2024年9月末までになります。	8 支払い NTTコミュニケーションズが相対での企業販売、もしくは市場での売り出しを行います。売買成立後1ヶ月を目安に送金させて頂きます。		

docomo business | NTT Communications

09 トピック案件：JAえちご中越様

- 長岡地域資源循環プロジェクトN.CYCLE参画の5事業者で、「糀殼炭バイオ堆肥ペレット」の使用や「J-クレジット」の創出などを通じて、地球環境に配慮した新たな価値を生み出し、米生産者の収益向上・地域産業の活性化推進をめざす



メンバー	役割
JAえちご中越	<ul style="list-style-type: none"> 糀殼炭の集約および供給 新たな栽培体系の定着に向けた農家への営農指導の実施
岩塚製菓株式会社	<ul style="list-style-type: none"> J-クレジットを活用した環境配慮米やその加工品の販売
株式会社ホーネンアグリ	<ul style="list-style-type: none"> 糀殼炭やお米を磨いた際に出る研磨粉を中心とした『糀殼炭バイオ堆肥ペレット』の生成
株式会社ネオス	<ul style="list-style-type: none"> エシカル消費に関する国民の理解と関心を増進するため、プロモーション企画
NTTコミュニケーションズ	<ul style="list-style-type: none"> 「J-クレジット」の創出支援とクレジット市場への流通を通じた水田の肥沃度向上活動を支援

10

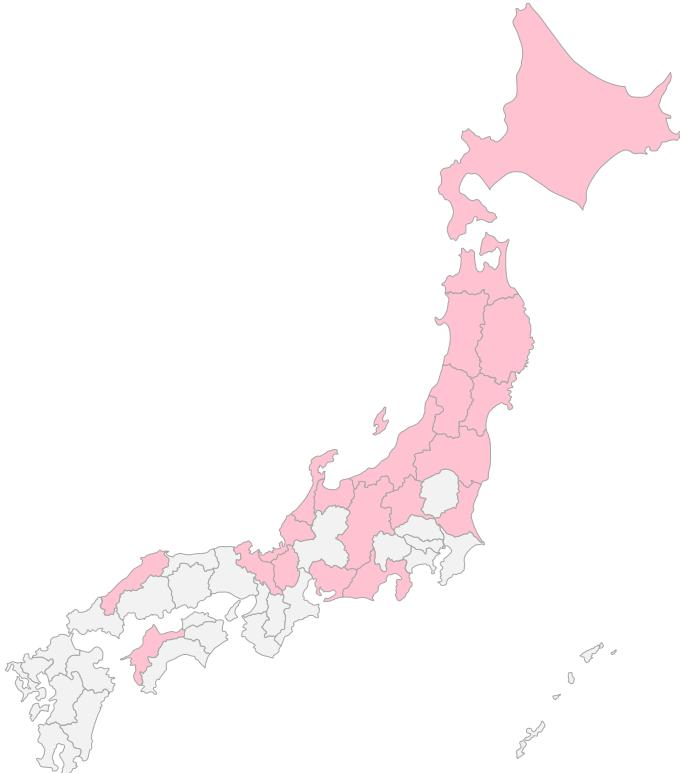
2024年度クレジット創出量（CO₂換算の削減量）

つなごう。驚きを。幸せを。



- 協力企業数：18団体 取組生産者数：271生産者
- 日本全国で17,096 t-CO₂の水田中干し延長クレジットを創出

2024年度 創出エリア(県・自治体)と排出削減量



都道府県別	水田面積 (ha)	排出削減量 (t-CO ₂)	水田面積 (ha)	排出削減量 (t-CO ₂)
新潟県	2,020.31	9,786	長野県	29.49
青森県	474.27	3,019	島根県	28.16
福井県	213.42	1,119	茨城県	25.37
宮城県	166.24	730	愛媛県	8.84
富山県	205.59	640	秋田県	9.95
滋賀県	151.00	582	愛知県	6.80
石川県	118.30	579	群馬県	11.26
山形県	50.98	156	北海道	14.50
福島県	19.26	76	静岡県	2.18
岩手県	10.84	68	京都府	1.26

全国	水田面積	排出削減量
20都道府県	3,467.6 ha	17,096 t-CO ₂

カーボンクレジットの販売状況

- 2024年度創出分のクレジットは、クレジットの仲卸を実施する企業や地場の製造業など企業へ、
多種多様な業界・企業様へ全ての在庫量を売却済み（2025年5月に創出され、8月には完売）

2024年度 販売実績と購入理由（一部抜粋）

全国	在庫量	排出削減量	
20都道府県	0 t-CO ₂	17,096 t-CO ₂	※FY25創出分Green Natural Creditは26年明け頃に在庫予定
顧客	販売量 [t-CO ₂]	購入理由概要	購入理由詳細
リース会社	2,000	②商品・サービス、金融商品への組み込み	リース商品にカーボンクレジットを付帯する形で提供予定
環境系コンサル	10,000	④間接販売	脱炭素系コンサルティング顧客に提供するクレジットを調達する目的で購入
製造業	545	①オフセット	自社オフセットに加え、本社所在地である地元農家への経済的還元の取り組みとして購入
通信会社	181	①オフセット	自社のScope1（主に重油の活動量）オフセットを目的とした購入。環境配慮の社内浸透と外部への発信（サスレボ掲載等）に活用予定
旅行・ホテル	5	②商品・サービス、金融商品への組み込み	ツアーやホテルでのオフセットサービスに活用。
スポーツチーム	69	③イベント等での使用	試合で発生する電気や観客の交通時に発生するCO ₂ 排出量に対するカーボンオフセット
日本酒メーカー	8	②商品・サービス、金融商品への組み込み	自社オフセットに加え、原料農家への経済的還元の取り組みとして購入
食品会社	594	①オフセット	自社オフセット・生産者に対する環境配慮および地域貢献の姿勢を伝える手段として購入

12 Green Natural Credit 提供価値



- NTTドコモビジネスではカーボンクレジットの創出量を年々拡大
- クレジットの供給（販売）も確実に履行
- ITセンサー*の活用によりカーボンクレジットの信頼性を向上、グリーンウォッシュ回避。

*農地に設置したセンサーで水位等を計測・記録するシステム。取得されたデータはクレジットの信頼性根拠となる。弊社クレジットでは farmo (ファーモ、株式会社farmo) を一部拠点にて活用中。



2023年度実績

実施地域

5県



114
t-CO2

2024年度実績

実施地域

20道府県

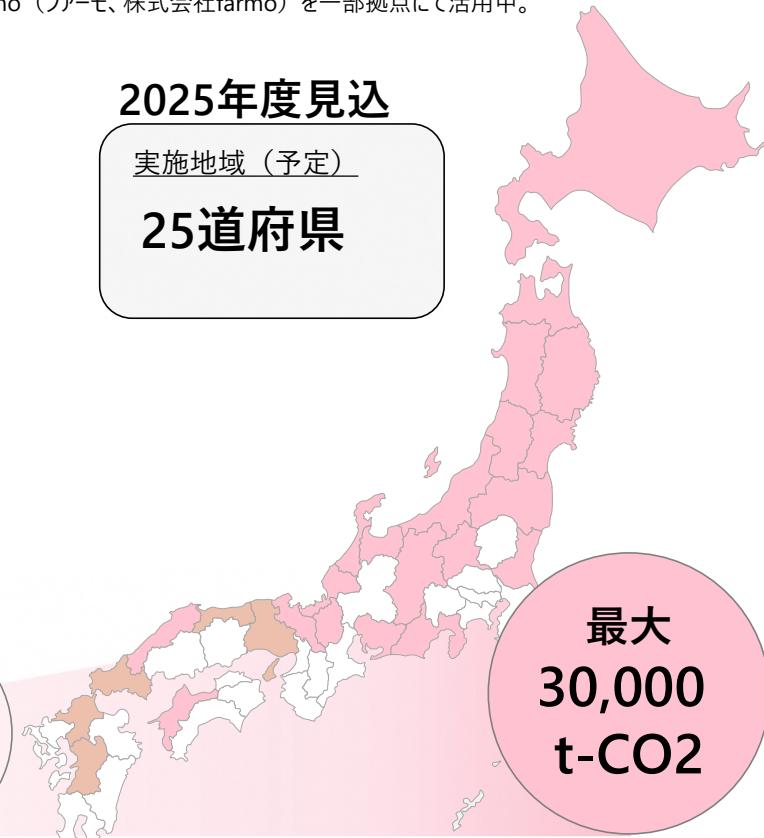


17,096
t-CO2

2025年度見込

実施地域（予定）

25道府県



最大
30,000
t-CO2

13 事例① ゼロカーボン日本酒の販売



- 飯豊町の生産者が酒米の生育過程で中干し期間の延長に取り組み、ドコモビジネスがクレジット創出を実施
- 非化石証明書※・創出したクレジットを活用し、環境配慮した酒米を原料としたゼロカーボン日本酒を販売

案件概要

対象地域と概要

飯豊町の町おこし協力隊が牽引し、カーボンクレジットを地産地消
若乃井酒造でゼロカーボン日本酒を発売

クレジット総量：8 t-CO₂

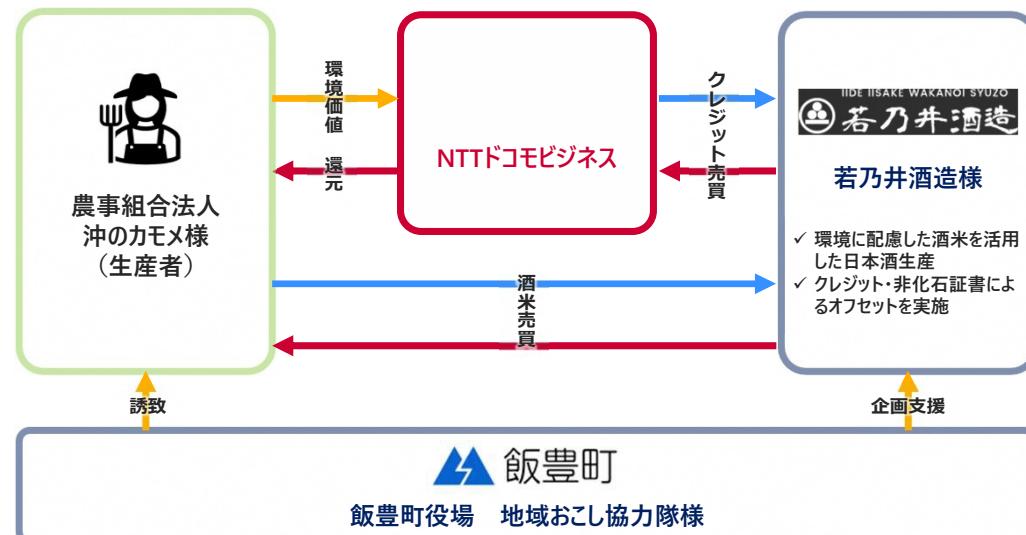
製品リリース概要



美しい自然豊かなこの町が
未来でも変わらずあり続けてほしい。
そんな想いを込めてつくりました。
飯豊町の大地を味わい、
未来に想いをはせるとっておきの一本。

この味を
いつまでも。

取組の体制



わたしたちの
想い。

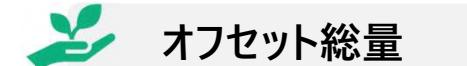
ゼロカーボン、
地域循環。

30年後には当たり前の
酒造りのかたちに
なっている
かもしれない。

散居集落の中にたたずむ
若乃井酒造

14 事例② ラグビーチームのイベントオフセット事例

- 浦安を拠点に活動するプロラグビーチーム「浦安D-Rocks」の脱炭素に向けた取り組み支援において、チーム運営・試合運営におけるGHG排出量算定・可視化、主管試合におけるカーボンオフセットを実施しています



233t



15 水田クレジットによる地域貢献

- 自然由来の水田クレジットは、農業（一次産業）や地域経済の持続可能な発展に貢献できます



オフセット以外の環境・社会貢献

- 中干し延長によりクレジットを創出し、農家の収益安定と持続可能な農業を支援
- 環境に配慮したお米のブランディング
- 農業系のイベントを通して環境教育や地域とのつながりにも貢献

産地を指定した購入事例

- 新潟県上越市の農業機械製造企業：上越市産を購入
- 新潟県上越市の電子・産業材料製造企業：上越市産を購入
- 京都府亀岡市のインテリア系企業：亀岡市産を購入
- 東京に本社のあるサステナビリティ支援企業：事業で関わりのある福島県産を購入

※いずれも販売単価は、弊社販売実績の平均単価より高価